

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和8年 4月 10日

団体所在地 広島市西区福島町2-24-15
団体の名称 社会福祉法人みどり会
職・氏名 理事長 杉川 綾
(施設名 みどりの森おひさまこども園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- 土・砂・水・泥遊び
- 春の自然散策散歩
- 自然物を使った色水遊び・押し花
- ヤマモモのジャムづくり
- 畑づくり
- 野草天ぷら
- よもぎ・しょうぶ湯

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- 夏野菜を使ったケーキサレ風パンケーキ
- 竹採取
- 竹の性質を知り、そうめん流しの竹づくり
- 海の生き物に触れる
- 自然物を使った染め遊び
- 笹船遊び
- お花の氷づくり

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- 落ち葉を使ったおめん作り
- さつま芋の収穫・焼き芋・つるで遊ぶ
- 畑づくり・冬野菜の苗植え
- 干し柿づくり
- 自然物を使ったリース・モビールづくり
- 門松づくり ○味噌づくり
- ツリーハウスづくり

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- 木材や石に色付け
- 冬の自然に触れる(氷づくり・雪遊び)
- 山登り(武田山・極楽寺山・仏舍利塔・弥山)
- ヨモギを使ったうどん・パンケーキづくり

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

「かわいい桜ちゃん」

公園で満開の桜に気づき「こっちにもあるよ」「気持ちよさそう」と自然に親しみ、花や花びらに触れて遊びを広げる姿が見られた。拾った木の枝を「こう？」と試しながら結び、自然物を組み合わせて枠を作り、さらに桜を OPP テープに貼り付けることで自然物を生かした表現遊びへと発展した。「くっついた」「こっちにも貼れそう」と試行錯誤を重ねる中で、自然物の特性に気づき主体的に関わっている。保育者は自然との関わりを大切にしつつ発想を引き出す声かけを行い、安全面（枝の扱い・誤使用防止）に配慮し見守った。自然に親しむ感性、指先の操作性、表現力、他児との共有が育っている。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

「水の卵発見！」

雨上がりの園庭で、里芋の葉にたまった水滴に一人の女の子が気づき、「たまごみた～い」と発見を楽しんだ。そっと触れて「触れた」と喜び、葉や水滴の不思議さに気づきながら言葉で表現していた。その後、男の子がやってきて水をかけると「ああ...なくなっちゃね」「お...？」と変化に注目し、小さな水滴を「つかめるかな？」と試すなど、二人で自然物を使った試行錯誤を楽しんだ。さらに息を吹きかけ「ふー！卵動いた！」と水の動きを確かめながら遊びを広げた。自然に親しみ、観察し、試す中で、気づきや表現、他児との関わりを深める姿が見られた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

「アサガオの花で...？」

雨上がりの園庭でテラスに咲く朝顔に気づき、手に取り感触を確かめる姿が見られた。握ったり上から落としてたりして触覚で楽しみ、手に色がつくことに気づくと、白い画用紙の上で腕や指を動かし、色の変化や感触を試していた。自然物の特性を自分で確かめながら遊ぶことで、好奇心や感覚的な気づきが育っている。写真では、手に花を持って画用紙で色を広げる様子や、指先でなぞっている姿を添えることで、活動の楽しさや自然との関わりが伝わる内容となっている。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

「家づくり」

先日作った木の家を覚えていた子ども達は、散歩に出かける前から「続きしよう！」「Aちゃんいっぱい持ってきたよ」と意欲を見せていた。散歩中も「この緑ほしいな...」「短いのはここに置いとくね」と、使う材料を考えながら話し合い、木を運んで組み合わせて「うんとこしょ！どっこいしょ！」と協力して作業を進めた。「トントン」と叩きながら作業を続けると、大きな木の家が完成し、「ちょっと暗いね」「木がいっぱい見える～」と出来上がりを楽しむ姿が見られた。活動中、「木の家あるかね？」「イノシシに潰されてるかもよ...？」と期待を話し合う場面もあり、自然物を使った遊びの中で探究心や想像力を働かせていた。友だちと協力しながら一つの目的に向かうことで、達成感や満足感を味わう姿が見られ、自然の中での主体的な遊びの楽しさが育まれている。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
アドバイザーと近隣の公園へ散歩し、葉や草を使った遊び方を実践的に学んだ。（6月）
身近な食べられる野草について理解を深め、調理活動への活用を学んだ。（5月・2月）
自然保育研修に参加し、フィールド整備や環境設定の工夫を学んだ。（6月）
他園見学を行い、園庭の作り方や自然を取り入れた園庭づくりについて学んだ。（7月）
よもぎ湯、門松づくり、リースづくりなどの行事を通して由来を知り、伝承のための知識を深めた。
（年間を通して季節ごと）
大豆の発酵や味噌づくりを学び、食や自然素材の理解を深めた。（11月）
園庭の土の改良や適した樹木について相談し、知識を深めるとともに緑化活動を行った。（2月）
- ・ 地域との関わりについて
季節の花を提供してもらい園庭整備に活用する。（6月）
焼き芋会で落ち葉集めやさつま芋の提供、焼き方のアドバイスをしてもらう （10月）
門松や七夕に使う竹や笹を提供してもらい、行事に使う （7月・12月）
- ・ 保護者との関わりについて
クラスで植えた野菜の生長を親子で観察
染物に使用する野菜などの自然物を提供
石臼を使った餅つきに参加し、子ども達と餅つきを楽しむ
保護者の畑をお借りして芋ほり体験を実施
ピーナッツなどの野菜収穫を体験
- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--